

【学校教育目標】

郷土に根ざした健全な児童の育成

【めざす学校像】

みんなの笑顔があふれる周布小学校

【めざす子ども像】

学ぶ子 育つ子 進む子



<発行元>

浜田市立周布小学校

浜田市周布町163-3

電話 0855-27-1006

FAX 0855-27-4724

ホームページQRコード



「ものは言いよう」

校長 宇野正一

一学期が終了します。昨年度は一学期の終業式が過ぎず夏休みに突入したことを思い出します。多くの場面で、保護者の皆様や地域の皆様にご協力をいただきありがとうございました。保護者の皆様も地域の皆様も私たち職員も、子どもたちの健やかな成長への願いは常に共通と思います。引き続きよろしくお祈りします。

さて、私のルーツは隠岐の島にあります。私自身は県外で生まれ育ち、小学校途中で転校を経験しました。この転校の経験は私の生き方に多大なる影響を与えています。この話は長くなるのでまた別の機会があれば。

今回は隠岐の民謡「キンヤモニヤ」の話題です。歌詞の一部はこんな感じだったと記憶しています。

♪丸いたまごもキンヤモニヤ、切りようで四角。♪
♪ものも言いようでキンヤモニヤ、角が立つ♪

卵はゆでてあれば別ですが、そのままでは切れないのに「切りようで四角」と始まり、続く一節は「ものも言いようで…角が立つ」とあります。言葉は言い方ひとつで、角が立つのです。子どもたちのトラブルはこの「ものも言いよう」が原因であることがたびたびあります。

子どもたちはこの「もの言いよう」をいろいろな場面で学んでいるのです。学校、家庭、地域の行事、習い事…。そして、学ぶ相手は友達や大人、最近ではネット上…。自分以外の「周囲他者」からです。「もの言いよう」は人それぞれで、それはその人にとっては普通の会話であるのかもしれない。

ある限定的な集団の中では、別に違和感なく、いわゆる「フツー」のもの言いであっても、社会の中、あるいは公的な場面では、逸脱しているもの言いであることもあるでしょう。子どもたちは周囲他者から学びます。ネット上の好ましくないと思われる情報も、仲良しの友達も、私たち学校の職員も、地域の皆さんも、家族も、すべて子どもたちが学ぶ「周囲他者」です。

私たち一人一人の「もの言いよう」は、角が立っていないでいいでしょうか。時々振り返りたいものです。



元気いっぱい・安全な夏休みを

長かった一学期が終わり、明日から子どもたちが楽しみにしていた夏休みが始まります。家族や地域の方と素敵な思い出をたくさん作り、心も身体も大きく成長してほしいと思います。充実した夏休みを送るためにも、健康で安全な毎日が大切です。そこで、子どもたちに意識してほしいことを紹介します。

『気をつけよう、水と車と火と人、お金』

【水難事故について】

夏休みにレジャーや旅行の予定を立てているご家庭も多いと思います。海や川などで、水や自然に親しむのによい季節ですが、大きな事故につながる可能性も高いのも事実です。海や川での水遊びや釣りについては保護者の方と一緒にすることになっていきます。「夏休みの約束」をもとに学校でも指導しましたが、ご家庭でもお子さんと一緒に改めて確認をお願いします。

【自転車の乗り方について】

自転車は、軽車両です。「止まれ」と書いてある所は、一旦停止をしなければなりません。曲がり角や小道の出入りなどは安全確認が必要です。せつかくの夏休みにけがをしただり、けがをさせたりしては楽しい夏休みが台無しになります。ルールを守って健康で安全な生活できる周布っ子を目指し、最高の夏休みにしてほしいと思います。(浜田 葉子)

夏休みのやくそく

年 組 名 前 ()

夏休みの校外遊のめあて

1. 時間

- 朝10時までには遊びに行かない。
- 夕方6時までには家に帰る。

2. 注意

【してはいけないこと】

- 食べ歩き、用事のない店への出入り、おごりあい、物の交換・貸し借り
- 子どもだけでの外出、大人が留守の時にその家で遊ぶこと
- 道路や駐車場でのボールなどを使った遊び、スケートボード
- 用水路での遊び
- エアガンを使った遊び

【お家の人と一緒にすること】

- 夜に外出すること
- 映画、飲食店、ゲームセンター、ゲームコーナーなどに行くこと
- お店へ出入りすること
- 校内外へ行くこと
- 海や川で泳ぐこと、海や川での釣りや水遊びすること

【お家の人の申し送りも大切】 ※保護者の皆様は適切な判断をお願いします。

- 自転車に乗ること…必ずヘルメットをかぶる。あごひもを締める。
- SNSなどへ動画や写真をのせること
- インターネットにつながるゲーム、スマートフォンなどのメッセージのやりとり

【気をつけること】

- 暑熱対策について行ったり、物をもらったり、誘いにのったりしないこと
- ★思わぬと思ったら、子どもSOSの家や教室に、すぐ助けを求めよう！(もしもよく聞かなければ、近くの家の大人に助けを求めよう)
- ★思わぬ誘いをしたら、すぐに警察(110番)に電話し、学校にも必ず連絡しよう！
- 不審電話に気をつけること
- ★知らない人から電話がかかってきて、友達の名前や住所、電話番号などを聞かれても大丈夫です。そしてお家の人にすぐに代わってもらうか、「わかりません」と言って、すぐに電話を切ります。
- 暑熱対策や熱中症に気をつけること
- ★手洗いやうがいなど忘れずに行おう！「周布の恵ぼう」で熱中症を予防しよう！

8月行事予定

- 27日(日) PTA 奉仕作業
- 30日(水) 2学期始業式

9月行事予定

- 6日(水) 委員会
- 7日(木) 読み聞かせ
- 8日(金) PTA 評議員会
- 10日(日) 6年生親子活動
- 12日(火) クラブ
- 17日(日) 運動会
- 18日(月) 敬老の日(運動会予備日①)
- 19日(火) 振替休業日(運動会予備日②)
- 21日(木) 血液検査(4年生)
- 23日(土) 秋分の日、科学作品展展示
- 24日(日) 科学作品展展示
- 28日(木) 読み聞かせ

夏休みも元気に過ごせますように!

待ちに待った夏休みが始まります。今年は、久しぶりに大きな制限がありません。今までできなかったこと、普段できないことを思いっきり楽しみ、いろいろな経験をしてほしいと思います。

周布小では夏休みの健康管理として、次のように指導しています。

熱中症対策

熱中症予防の合言葉として「すふのきぼう」を伝えています。

- す:睡眠
- ふ:普段の生活
- き:休養
- ぼ:帽子
- う:運動

感染症対策

コロナウイルス感染症に限らず、いろいろな感染症や発熱・かぜ症状が少し増えています。手洗いや生活習慣は、感染症予防だけでなく、心身の健康のために重要です。機会を捉え、継続的に大切さを伝えていきます。



思い出いっぱい！ 修学旅行♪

6月22日(木)23日(金)の1泊2日で修学旅行へ出かけました。今年度は、久しぶりの広島での修学旅行でした。1日目は平和資料館や平和公園・宮島に行き、平和についてしっかり学んだり、宮島で買い物をしたりしました。2日目はJFEスチール工場へ行き、鉄が作られている様子を実際に見たり、みろくの里で思いっきり遊んだりしました。お家の人と離れて過ごすホテルでは、友達と布団やソファに座りながら会話が盛り上がっているようでした。修学旅行は、いつもと違う環境で学習する機会でもあり、公の場でのマナーや集団での行動について考えたり、たくさんの方へ感謝の気持ちを伝えたりする、とても良い機会となりました。たくさん学び、たくさん遊んだ2日間は、子ども達にとって大切な思い出となったと思います。

出発式と解団式では、子ども達の顔付きも少したくましく感じました。今回の経験をこれからしっかりいかしていきたいです。



仲良くなったよ～西部ブロック合同学習

(のびすくにこ)

7月11日、三隅小学校にて、「西部合同学習～西部の友だちとなかよくなるう！会」がありました。当日は、浜田養護学校・長浜小学校・美川小学校・岡見小学校・三隅小学校・周布小学校の総勢40名が集まり、学校紹介クイズや名刺交換、チェッコリダンス&玉入れや大玉ころがし、フルーツバスケットなどのゲーム活動をしました。自由時間には、自然に他校の友達とふれあう姿が見られ、とても楽しそうでした。みんなは指示をよく聞きながら、全ての活動に参加することができました。初めて過ごす場所であっても、指示をよく聞いて集団で過ごす時のルールを守る、という力も伸ばすことができました。2学期はライディングパークで乗馬体験をする予定です。



楽しかった 科学教室 (4年生)

7月7日に、「紫外線をつかまえよう！忍者えのぐでバルーンスライム」と題し科学実験を行いました。太陽の光に含まれている見えない紫外線を自分の目で確かめることができる忍者えのぐを使って、色をぬったり、スライムを作ったりしました。作ったスライムを日光に当てると色が変わり、紫外線があることが分かり驚きました。

科学の好きな子どもが一人でも増えてくれるとよいな、という気持ちで講師の先生は、あちらこちらの学校を回っていらっしゃるのだそうです。



家庭科でいろいろチャレンジしました(5年生)

5年生になって始まった家庭科の学習。子どもたちから「家庭科は調理実習があるから好き！」という声が聞かれますが、家庭科は実技の多い学習なので、子どもたちの中で好きな教科の一つのようです。

緑茶を入れる学習から始まり、6月位から「青菜のおひたし」・「ゆでいも」の調理実習、次に玉どめや玉結び・なみ縫い・ボタン付けなどの裁縫に挑戦しました。調理実習はグループの友だちと協力しながら行い、簡単でおいしいゆで野菜のおいしさを知りました。裁縫では、針に糸を通す段階から苦戦している子もいましたが、ひと針ひと針丁寧に縫い、できることが増えました。この学習を通して、これまでお家の人にやってもらっていたことが少しでも自分でできるようになったと思います。家庭科のチャレンジで1学期成長した子どもたちです。



まさに夢のような授業でした!(6年生)

6年生は、7月11日(火)に、島根サノオマジックの津山尚大選手、大橋大空選手をお招きして、夢授業を開催しました。前半は、バスケット選手になるまでのご経歴や、夢を叶えるために取り組んでこられたことなどについて聞くことができました。努力してこられた中で、挫折もたくさんあったそうです。バスケットだけでなく、日常生活の一つ一つを大切にしておられ、子どもたちにとっても今後に生かしていきたいお話ばかりでした。

後半は、選手と一緒にバスケットの試合をしました。子どもたちの表情はプロの選手を前に真剣そのものでした。最初は緊張気味でしたが、選手が優しく声をかけてくださり、楽しい雰囲気でも活動することができました。プロならではの豪快なダンクシュートやボールさばきも圧巻でした。今回の夢授業を通して、夢や目標について考えるきっかけになりました。

